

科目名 (英)	航空知識Ⅱ Study of Airlines IndustryⅡ	必修 選択	選択 必修	年次	2・3	担当教員	廣田 能律恵先生
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期 水曜日3限目
【授業の学習内容】 航空関連の様々な分野における知識をわかりやすく解説します。入社後に幅広く活躍できるよう、本物志向の知識の習得と視野・思考の拡充へ導きます。社会情勢によって変化する業界の情勢を織り交ぜ、各職掌の責任の重さ、業務の面白さとやりがいを実感しつつ、未来志向で学んでいきます。							
【実務経験】 全日本空輸(株)運航本部およびANAグループ複数社にて品質推進、旅客サービス各種、接遇・アナウンス等教育、運航支援、搭降載管理等に10年間従事。(各社にて社内褒賞の受賞歴あり)							
【到達目標】 航空業界の歴史や国内外の企業研究を行い、どのように航空会社が生まれ成長を遂げてきたかや各航空会社の違いを説明できるようになる。また、航空業界を支えている職種に関しても広く学び、チームワークの大切さを感じることが出来る。							

授業計画・内容	
1回目	業界の全体図を思い描き興味を深めることができる ●シラバス・評価方法説明 ●自己紹介 ●航空会社と航空関連会社 ●職掌紹介(一部)
2回目	空港と空港業務の概要を学ぶことができる ●空港の種類 ●空港施設 ●航空管制の基礎 ●空港職(ラウンジ, INFO等)
3回目	国内線見学会に当たり、国内線の特性や国内線ターミナルビルの施設・従事者について学び、ガイドする準備ができる
4回目	国内線見学会でのガイドを通して、実際に見学して得られた知識とわかりやすい説明スキルを習得できる
5回目	見学会での気付きを共有し、チームワークや準備の重要性を認識できる/ 国際線の特色や業務概要を知ることができる ●路線 ●CIQ ●免税店他
6回目	国際線見学会に当たり、国際線の特性や国際線ターミナルビルの施設・従事者について学び、ガイドする準備ができる
7回目	国際線見学会でのガイドを通して、実際に見学して得られた知識とわかりやすい説明スキルを習得できる
8回目	見学会での気付きを共有して習得した知識を整理・深化し、チームワークの効果的な活用とアウトプットスキルについて総括できる
9回目	航空業界の職掌と業務概要等を学ぶことができる ●旅客サービススタッフ(GS)
10回目	航空業界の職掌と業務概要等を学ぶことができる ●整備士(MC) ●グランドハンドリングスタッフ(GH)
11回目	航空業界の職掌と業務概要等を学ぶことができる ●機種(TYPE)と客室(CABIN)装備 ●運航乗務員(PLT) ●客室乗務員(CA/FA)
12回目	航空業界の職掌と業務概要等を学ぶことができる ●運航管理者・支援者(DISP)
13回目	航空業界の職掌と業務概要等を学ぶことができる ●航空貨物(CGO) ●危険物(DGS) ●ケータリング 他
14回目	★評価週
15回目	★まとめ・追試/再試 総括
準備学習 時間外学習	事前に配布されたテキストや資料類は事前に一読して授業に臨みましょう。 知識を得ることは、業界の面白さや仕事のやりがいに気付けるチャンスです。授業後も読み返して、今後の選択や物事に対する考え方に活かしましょう。
評価方法	期末テスト 100% (筆記および実技試験)
受講生への メッセージ	ご入学おめでとうございます。半年間皆さんと学びの時間を共有できるのが楽しみです。「好きこそものの上手なれ」様々なトリアを通して航空業界のことをもっと好きになってください。 航空業界は社会情勢に大きく影響されます。業界の過去＝歴史を知り、今を見つめ、幅広く学んであなたの目指す「未来」へ繋げましょう。また公共交通機関である航空業界において、安全運航は最重要課題です。安全こそ全てに優先されるという認識を強く持ち、正確な知識を幅広く身に付けましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 オリジナルテキストおよびプリント等を適宜配布	

科目名 (英)	航空英語/フロントオペレーション Airline English	必修 選択	選択必修	年次	2.3	担当教員	TUNDE ODEGBARO先生
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	前期 金曜日3限目
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
【学習内容】 英語でのコミュニケーションやエアライン業界に必要な英語力を身につけます							
【実務経験】 英語講師歴10年							
【到達目標】 航空業界で使用する接客英語をロールプレイングを通じて学び、基本的な対応ができるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	チェックインカウンターで現在、過去、そして将来の行動を説明できる
2回目	お客様のリクエストについて話すことができる
3回目	食べ物の好き嫌いを聞くことができる
4回目	ドリンク、スナックのサービスができる
5回目	レッスン1-4の復習
6回目	オーダーを聞いて理解できる
7回目	機内食の説明ができる
8回目	カウンターで変更事項を説明できる
9回目	注意事項を説明できる
10回目	レッスン6-9の復習
11回目	機内でお土産の販売ができる
12回目	空港内の道案内ができる
13回目	テストのための復習
14回目	テスト
15回目	テスト解説
準備学習 時間外学習	各ミニテストの準備をしてください
評価方法	最終テスト75%、授業内での発表数25%
受講生への メッセージ	楽しくてわかりやすい方法で英語学習を楽しみましょう。この講義は、国際社会でのコミュニケーションに必要な英語を話すスキルを身につけるのに役立ちます。
【使用教科書・教材・参考書】 授業内筆記(この授業専用のノートを用意してください。) ※注) 他の授業のノートと一緒にしないようにしてください。 必要に応じて航空業界のプリント教材使用します。	

科目名 (英)	手話/業界研修Ⅲ Sign language	必修 選択	選択必修	年次	2・3・4	担当教員	上田 直子 / 村上 奈緒美
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
						曜日・時限	水曜日2時限

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)
福岡市手話奉仕員養成事業の講師の実績がある講師が、手話の基本文法を指導する。
聴覚障害者を理解し、聴覚障害者との場面によってはコミュニケーション手段や簡単な手話による会話の実践を行う。

※実務経験:福岡市手話奉仕員養成事業の講師の実績がある。

【到達目標】

- ・手話で自己紹介を表現することができる
- ・きこえない人とのコミュニケーション手段を説明することができる
- ・いろいろな職業で使えるような接客用語を表現することができる

授業計画・内容	
1回目	第1講座 「ろう者の生活」
2回目	第2講座 伝え合ってみましょう 手の動きや表情で伝え合えることができる
3回目	第3講座 自己紹介をしましょう 手話で名前を表現できる
4回目	第4講座 自己紹介をしましょう 手話で家族を表現できる
5回目	第5講座 自己紹介をしましょう 手話で数を表現できる
6回目	第6講座 自己紹介をしましょう 手話で趣味を表現できる
7回目	第7講座 自己紹介をしましょう 手話で仕事を表現できる
8回目	第8講座 自己紹介をしましょう 手話で住所を表現できる
9回目	第9講座 まとめ 自己紹介を手話で話すことができる
10回目	第10講座 話してみよう！ 1日のことを手話で話すことができる
11回目	第11講座 話してみよう！ 1か月のことを手話で話すことができる
12回目	第12講座 話してみよう！ 1年のことを手話で話すことができる
13回目	総合復習
14回目	試験
15回目	手話スピーチ
準備学習 時間外学習	復習してください
評価方法	・出席率 40% ・筆記試験 30% ・手話の読み取り試験 30%
受講生への メッセージ	手話を学んで、いろいろな場面で、ろう者とのコミュニケーションが出来るように学習します。一緒に頑張りましょう！

【使用教科書・教材・参考書】

手話奉仕員養成テキスト 手話で学ぼう手話で話そう

科目名 (英)	就職講座 I / 企業プロジェクトA Work Seminar I	必修 選択	必修 選択	年次	2・4	担当教員	廣田 能律恵先生
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	前期 金曜日2限目
【授業の学習内容】							
就職活動の全体図を認識し、考え方や意識改革、視野の拡大を図り、社会人として求められることや自分自身の夢を叶えるために必要な要素を洗い出します。正未研究の自己分析の方法、時事問題へのアプローチの考えを踏まんに就職活動への活かし方を学び、「傾聴」の対話の中で自己分析の糸道を築きます。							
【実務経験】							
全日本空輸(株)運航本部およびANAグループ複数社にて品質推進、旅客サービス各種、接客・アナウンス等教育、運航支援、搭降載管理等に10年間従事。講師業の他、大手教育事業社の店舗にて営業接客・MC・運営サポート及び同社子ども英語教室、大手老舗百貨店外食部、行政機関等での勤務経験も有する。							
【到達目標】							
就職試験の対策基礎(就職活動の流れ・企業研究方法・自己分析・時事問題)を学び、理解し、内定取得に向けての準備ができる。 研究結果について他者と意見を交換し、多角的な視点で考察する力を培うことができる。 日頃から時事問題を「自分事」と捉え、自分なりの意見やアイデアを持ち、就職試験において臨機応変にオリジナルの意見を出せる基礎力を身につける。							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーションを通して就職活動の全体図を思い描ける。学生(アルバイト)と社会人の違いを理解し、将来の人生設計について考察できる
2回目	目標をカテゴリー別に設定し、自己分析と必要な要素・知識を明確にできる
3回目	PDCAサイクルを学習姿勢に応用し、様々な行動の基軸とすることができる
4回目	PREP法を引用して日頃から論理的思考および表現ができるようになる
5回目	就職試験で求められる一般常識や学力レベルについて理解できる 情報収集のポイントとアプローチの方法を理解できる
6回目	時事問題へのアプローチの方法を理解し、対策を実践することができる(練習回)
7回目	与えられたテーマの時事問題を考察・発表し、他者と意見交換しながら創造的思考力をつけることができる①
8回目	与えられたテーマの時事問題を考察・発表し、他者と意見交換しながら創造的思考力をつけることができる②
9回目	企業研究の方法とポイントを理解し、実践・考察することができる
10回目	異なる2社を比較し、企業間の差異と研究の必要性を実感できる①
11回目	異なる2社を比較し、企業間の差異と研究の必要性を実感できる②
12回目	自己分析について既習内容を振り返り、分析内容と必要性を確認することができる
13回目	自己分析の意義と企業の視点について考察することができる
14回目	★評価週
15回目	★まとめ・追試/再試
準備学習 時間外学習	自己分析や企業研究等、指示された課題は必ず行い、授業の時間を最大限有効に使えるようにしましょう。面接練習で習ったポイントは、授業後にくり返し練習しましょう。
評価方法	期末テスト 100% (筆記および実技試験)
受講生への メッセージ	進級おめでとうございます。いよいよ就職対策が始まりますね。面接などに不安を感じる人もいるでしょうが、焦る必要はありません。一人ひとりの魅力は異なるため、質疑応答に正解はなく、問われているのはあなたの人間性と未来への意気込みです。今まで一生懸命頑張ってきたことや、失敗から学んだ積み重ねこそがあなたの魅力です。自分自身と素直に向き合い、それらを相手に伝えましょう。時間は全ての人に平等であり、夢は強く具体的に願った人ほど叶えられます。日々の学びを大切に、すぐ先にある未来の夢に向かって一歩ずつ着実に歩みを進めましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
オリジナルテキストおよびプリント等を適宜配布	

科目名 (英)	就職講座Ⅱ/業界研修Ⅲ/ユニバーサルサービス Universal service	必修 選択	必修 選択	年次	2・3・4	担当教員	廣田 能律恵先生
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
						曜日・時限	金曜日4限目
【授業の学習内容】 ユニバーサルマナーを振り返り、公共の場での導入需要が高まっているサービス介助士の知識やノウハウも加えて、より多角的かつ実践的に学びます。被介助者引いてはお客様目線での対話にも使えるコミュニケーションのポイントを学び、面接試験における「傾聴」と「対話」の中で自己PRができるよう導きます。							
【実務経験】 全日本空輸(株)運航本部およびANAグループ複数社にて品質推進、旅客サービス各種、接客・アナウンス等教育、運航支援、搭降載管理等に10年間従事。講師業の他、大手教育事業社の店舗にて営業接客・MC・運営サポート及び同社こども英語教室、大手老舗百貨店外商部、行政機関等での勤務経験も有する。							
【到達目標】 ユニバーサルマナー検定を通じて学んだことを実際にどう使っていくのか実践的に行うことができる。 多様性が求められる社会において、企業に求められる責任について法的根拠も理解し、正確な知識とホスピタリティに則った実践方法を習得することができる。							

授業計画・内容	
1回目	自己紹介 ユニバーサルマナーの復習をしつつ、多様性社会で企業に求められる「責任」および法的根拠を理解し、それを担える意識改革ができる
2回目	サービス介助の認識、エイジズム、障害の「個人モデル」と「社会モデル」についての意識を持ち、社会で自分が求められることを考察できる
3回目	介助時の対話の重要性とコミュニケーションのポイントを理解できる
4回目	車椅子の種類・構造・取扱い方法、白杖の種類・取扱いの注意点・利用者への配慮・非常時の見分け方などを理解できる
5回目	高齢者・車椅子利用者の介助やサービスを実践できる
6回目	視覚障害者への介助やサービスを実践できる
7回目	サービスとホスピタリティ、おもてなしの差異について理解できる
8回目	志望する業界に求められるホスピタリティとチームワークについて理解することができる
9回目	自身の目指すホスピタリティやチームワークについて考察し、就職試験の対策に活用することができる
10回目	接客や就職対策に活かせるコミュニケーションスキルを学ぶことができる(概論)
11回目	接客や就職対策に活かせるコミュニケーションスキルを学ぶことができる(話し手のポイント)
12回目	接客や就職対策に活かせるコミュニケーションスキルを学ぶことができる(聴き手のポイント)
13回目	女性の社会進出の実態および活躍できる業務、ライフスタイルに合わせた働き方について、企業人に求められる意識と共に考察することができる
14回目	★評価週
15回目	★まとめ・追試/再試
	総括
準備学習 時間外学習	授業で学んだことや考えを巡らせたことは、日常生活やアルバイト等で実践し、接客スキルも人としての魅力もどんどん高めましょう！テキスト類は適宜読み返して、自己成長やモチベーションの維持に活かしましょう。
評価方法	期末テスト 100% (筆記および実技試験)
受講生への メッセージ	「人との繋がり」という共通項の複数の業界で経験してきた多様な知見を基に、「働く」ということについてお伝えしていきます。そのやりがいと共に、企業人としての在り方、求められるプロフェッショナルの意識、チームワークの重要性についてもしっかりと考えていきましょう。それらが結果として「就職対策」として確実な近道となります。またサービス介助士としての知識を基に、多様性についても盛り込みます。多様性が尊ばれる今の社会において「区別」と「差別」の違いを認識し、個性を尊重しつつ、在りのままの自分の強みについても柔軟に考えてみましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 オリジナルテキストおよびプリント等を適宜配布	

科目名 (英)	フードビバレッジ I Beverage foundation I	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	村岡 あゆみ / 綾垣 陽子
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科・ホスピタリティビジネス科	授業形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期 木曜日1限目
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)</p> <p>五感と味覚について学び、それぞれの飲み物に合うメニューを考えます。また、料理同士の組み合わせや、調味料や香辛料についても学習していきます。紅茶は、正しい知識を学び、技術を身につけることで、その味や香り等が全く変わります。また、紅茶と言っても、その種類は4,000～5,000種で、産地によって、大きく特徴が異なり、相性のよい食べ物が変わってきます。授業では美味しい飲み方・楽しみ方の知識を深め、現場にも役立つ、実用的な知識の習得します</p> <p>※実務経験: 村岡あゆみ: 病院にて管理栄養士として10年勤務。現在、料理代行、洋菓子開発、飲食店メニュー提案、子供向け料理教室を行う。 綾垣陽子: 1996年より福岡・佐賀を中心にテレビ、ラジオの番組のMC・リポーターとして活動。複数の料理番組や中継コーナーを担当。2000年から4年間JAふくおか、女の提供番組のメインパーソナリティーを担当し、種まきから収穫・加工品の製造・新商品開発などに参加。 結婚式場やお料理教室、カフェなどのシーズン毎のメニュー選定、テーブルコーディネートに携わる。 2019年紅茶アドバイザーの資格を取得し、講師として、企業で講義やイベントを開催。</p>							
<p>【到達目標】</p> <p>五感や味覚について知ることができる 飲み物の種類を知ることができる 料理と飲み物の組み合わせを考慮することができる 紅茶の基礎を講義と実習で学びます <具体的な目標>①美味しい紅茶の淹れ方を身につける ②おもてなし力をつける(コーディネートや小物の使い方)</p>							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション(自己紹介、授業内容、評価について)
2回目	五感について知ることができる
3回目	世界の食文化と食物アレルギーについて、理解をすることができる
4回目	日本茶の種類について学び、合うメニューを考慮することができる
5回目	中国茶の種類について学び、合うメニューを考慮することができる
6回目	コーヒーについて学び、合うメニューを考慮することができる
7回目	ソフトドリンクの種類について学び、合うメニューを考慮することができる
8回目	調味料や香辛料について学び、合う飲み物を考慮することができる。
9回目	料理同士の組み合わせを考慮することができる
10回目	飲み物同士の組み合わせを考慮することができる
11回目	まとめ
12回目	評価試験
13回目	紅茶の基礎知識 ホットティーの淹れ方(綾垣)
14回目	アイ스티ー・ミルクティーの基礎と淹れ方(綾垣)
15回目	アフタヌーンティーの歴史・マナー(綾垣)
準備学習 時間外学習	期末テスト100%(筆記試験)
評価方法	
受講生への メッセージ	身近な食べ物や飲み物の組み合わせを実践しながら、考えていきましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	宿泊業務演習Ⅰ / マーケティングⅡ / ITマネジメント	必修 選択	必修	年次	2・4	担当教員	林田 裕也
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
						曜日・時限	金曜日1時限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
<p>※実務経験:パークハイアット東京7年間勤務、リゾートトラスト社東京ベイコート倶楽部東京後、株式会社プライムコンセプト12年専務取締役、株式会社プライムプランディングデザイン取締役副社長、ホテル旅館運営会社プランアクト取締役副社長</p>							
【到達目標】							
顧客行動心理学をベースに、サービス商品の最大価値を引き出す為のスキルを身に付けます。まだ宿泊業界の最新トレンドを紹介しながら未来の宿泊業界で活躍できるマインドを身に付けます。							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション・自己紹介
2回目	最新の宿泊業界トレンドを知る事ができる
3回目	宿泊業界におけるブランドとマーケティングの重要性を理解できる
4回目	お客様とのファーストコンタクトの重要性
5回目	お客様との信頼関係を作るパーソナルスペースの把握
6回目	サービスと顧客感動体験を与えるサービス構成を学ぶ事ができる
7回目	サービスと顧客感動体験を与えるサービス構成を実際に構築する事ができる
8回目	サービスと顧客感動体験を与えるサービスを実際に考え、実演する事ができる
9回目	サービスと顧客感動体験を与えるサービスを実際に考え、実演する事ができる②
10回目	サービスと顧客感動体験を与えるサービスを実際に考え、実演する事ができる③
11回目	グループワークとして、感動サービスの提案準備
12回目	グループワークとして、感動サービスの提案準備
13回目	グループワークとして、感動サービスの提案準備
14回目	グループワークとして、感動サービスの事前プレゼン準備
15回目	グループワークとして、感動サービスのプレゼンテーション
準備学習 時間外学習	
評価方法	授業への参加姿勢(50%)及びプレゼン評価(50%)
受講生への メッセージ	今後は、宿泊業界におけるサービスは、感動と顧客マーケティングを使ったスキルと想像力が成長の鍵です。その重要な構成を基本から実際に作成し実演までを学びます。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	映像制作・SNS Movie and SNS	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	蒲原 勇
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科	授業形態	講義演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	前期 水曜日1時限
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)</p> <p>①動画作成に関する知識と経験 ②SNSリテラシーと分析 SNSで情報を受け取るだけでなく、自ら発信する力と根拠を身に着けることができます。</p> <p>※実務経験: 映像クリエイターとして12年会社勤務の後、独立起業。現在プライダル/プロモーション映像の作成を主な事業として行っている。</p>							
<p>【到達目標】</p> <p>①映像制作のフローを学び、PR意図のある映像制作を作成する事ができる。 ②ターゲットを意識したSNS発信を行うことができる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	■自己紹介、授業の目的:作成した映像などを見てもらう。実際に動画編集アプリに触れ操作の基本を身に着ける
2回目	■動画作成(序盤):自身で動画のコンセプトを決め撮影・編集ができるようになる。作品フィードバック
3回目	■SNS動画概論:SNS動画の現状と重要性を理解し、説明ができるようになる
4回目	■動画作成の流れ:動画作成のフローを理解し、説明ができるようになる
5回目	■AIの活用と企画書の作成:AIを使用した企画書の作成ができるようになる
6回目	■プレゼンテーション①:企画書を通して、相手に制作意図を伝える事ができるようになる。企画書フィードバック
7回目	■動画作成(中盤):企画書を基にした動画作成ができるようになる。作品フィードバック
8回目	■撮影の基本と応用:撮影の基本や応用の知識を理解し、説明ができるようになる
9回目	■編集の基本と応用:編集の基本や応用の知識を理解し、説明ができるようになる
10回目	■炎上対策とコミュニケーション:炎上事例研究、コメント・DM対応を実践できるようになる
11回目	■投稿最適化と効果測定:インサイト分析を理解し、投稿時間・頻度・ハッシュタグなどを応用できるようになる
12回目	■グループによる企画立案と構成:
13回目	■プレゼンテーション②:企画書を通して、相手に制作意図を伝える事ができるようになる。ディスカッションによるブラッシュアップ
14回目	■動画作成(終盤):企画書を基にした動画作成ができるようになる。
15回目	■完成動画発表、相互評価・フィードバック、質疑応答、総評
準備学習 時間外学習	
評価方法	<p>【個人評価】</p> <p>①実技試験 30%:動画作成(中盤)…動画作成評価 ②筆記試験 40%:SNSリテラシーとインサイト分析の理解</p> <p>【グループ評価】</p> <p>③実技試験 30%:動画作成(終盤)…動画作成評価</p>
受講生への メッセージ	<p>SNSをはじめ様々なプラットフォームで動画を見る機会が増えました。 SNSの正しい知識や写真・動画の効果的な撮影方法/発信方法を知る事はこれからの学生生活や社会人生活を迎える上で必要な知識となります。 一緒に楽しみながら動画の作成を覚えていきましょう!</p>
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	英検/TOEIC対策/英会話 ToEIC measures	必修 選択	選択必修	年次	2・3・4	担当教員	坂田 未央
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期 月曜日1時限 / 火曜日1時限
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) TOEICは全世界で通用する、ビジネス英語の熟練度を測る試験です。このTOEIC試験の内容をざっと網羅し、リスニングと語彙・文法・読解問題の攻略にあつたの、基礎固めを目指すクラスです。</p> <p>※実務経験:2020年より当校ホテル・エアラインの学生対象にTOEIC、英検対策の授業を行う。2024年 福岡こども専門学校にて保育英会話講師。自宅にて行う英語の個人指導実績は過去に90名以上。(進学実績:九州大・早稲田大・上智大・東京理科大、法政大・明治大など)。東京外国語大学外国語学部英語科卒業。通訳経験、翻訳業務経験多数。英検1級 TOEIC975</p>							
<p>【到達目標】 TOEICテストの全貌を学ぶことができる。TOEIC初級でも、とくに得点しやすいリスニングの前半問題と語彙文法問題に数多く取り組むことで、得点力をアップすることができる。 目標得点(3級レベル:400点以上 準2級レベル:500点以上 2級レベル:600点以上 準1級レベル:700点以上)をクリアする実力をつけることができる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	年初のオリエンテーション。TOEICテストの内容解説をし取得の意義を伝えることでモチベーションを上げることができる。
2回目	リスニング問題に取り組み聴解力を上げることができる。語彙・文法問題に取り組みることにより読解力を上げることができる。
3回目	リスニング問題に取り組み聴解力を上げることができる。語彙・文法問題に取り組みることにより読解力を上げることができる。
4回目	リスニング問題に取り組み聴解力を上げることができる。語彙・文法問題に取り組みることにより読解力を上げることができる。
5回目	リスニング問題に取り組み聴解力を上げることができる。語彙・文法問題に取り組みることにより読解力を上げることができる。
6回目	リスニング問題に取り組み聴解力を上げることができる。語彙・文法問題に取り組みることにより読解力を上げることができる。
7回目	リスニング問題に取り組み聴解力を上げることができる。語彙・文法問題に取り組みることにより読解力を上げることができる。
8回目	これまでの復習テストをすることにより、弱点を知り改善することができる。
9回目	リスニング問題に取り組み聴解力を上げることができる。語彙・文法問題に取り組みることにより読解力を上げることができる。
10回目	リスニング問題に取り組み聴解力を上げることができる。語彙・文法問題に取り組みることにより読解力を上げることができる。
11回目	リスニング問題に取り組み聴解力を上げることができる。語彙・文法問題に取り組みることにより読解力を上げることができる。
12回目	リスニング問題に取り組み聴解力を上げることができる。語彙・文法問題に取り組みることにより読解力を上げることができる。
13回目	リスニング問題に取り組み聴解力を上げることができる。語彙・文法問題に取り組みることにより読解力を上げることができる。
14回目	これまでの復習テストをすることにより、弱点を知り改善することができる。
15回目	テストの講評と解説をすることで弱点を知り、その場で修正することができる。
準備学習 時間外学習	毎回ではありませんが、語彙の復習ミニテストなどもあります。その時は前の週にお伝えしますので、しっかり復習をしてきてください。
評価方法	授業中のパフォーマンス・ミニテストの得点:50% 中間期末試験:50%
受講生への メッセージ	TOEICは英検とは全く毛色の違う語彙や出題形式をもった国際資格で、独自の勉強が必要です。幅広いスキルが要求されますので、最初は圧倒されるかもしれませんが、まずは基礎となるシンプルなリスニング問題と語彙文法問題を攻略して、しっかり実力をつけていきましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
「TOEIC公式問題集10」 「TOEIC書き込みノート」 そのほか、随時必要に応じてプリント教材	

科目名 (英)	英語 I / 英語 II English Language I・II	必修 選択	選択必修	年次	1.2	担当教員	STEVEN MEYERS先生
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期
						曜日・時限	月曜日3限目・火曜日3限目

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

※実務経験: I have been teaching English in Japan for 21 years, with the primary focus on helping early beginner to intermediate level students develop and improve their English conversation skills. This experience includes: working five teaching contracts with JGSDF – Nursing college (2017–2021) to prepare curriculum, provide instruction and testing for an English Communication course; and twenty-one years teaching Eikaiwa adult classes, private English Adult Group classes, and Japanese corporate English conversation classes.

私は日本で21年間英語を教えており、主に初級から中級レベルの生徒の英会話スキルの向上と向上を支援することに重点を置いています。この経験には、陸上自衛隊看護学校との5つの教員契約(2017–2021)での英語コミュニケーションコースのカリキュラムの準備、指導、テストの提供、および21年間の成人向け英会話クラス、成人向けプライベートグループ英語クラス、および日本の企業向け英会話クラスの指導が含まれます。

【到達目標】

英語の四技能(読む・聞く、話す、書く)を学び、英語基礎コミュニケーション能力を身に付けグローバルに活躍できるようになる。By learning the four English skills (reading, listening, speaking, and writing), students will acquire basic English communication skills and be able to play an active role on the global stage. This class will exercise all these skills, with an emphasis on speaking and listening.

このクラスでは、特に話すことと聞くことに重点を置いて、これらのスキルを養成します。

授業計画・内容	
1回目	Go over our learning objectives, class content, timeline and syllabus. Discuss study skills and tools to assist you. Introducing yourself – Formal vs Informal (casual) Hobbies and interests. Nicknames.
2回目	Using Personal Titles. Asking and giving personal details (Fictional information will be used in class)
3回目	Asking and giving personal details (continued).
4回目	Countries / Nationality Adjectives (for people and things) / Languages
5回目	Numbers Cardinal vs Ordinal Small and medium-sized number. (0–999)
6回目	Larger Numbers: Thousand, million and billion
7回目	Pronouns and English contractions Places/Rooms at home
8回目	Midterm test. Using present continues tense in conversation.
9回目	Reading, comprehension, and discussion Possessive adjectives
10回目	Describing people and things Descriptive adjectives and their opposites.
11回目	Talking about weather and temperature.
12回目	Talking about family and relations
13回目	Places around town and locations
14回目	Telling the time. Simple and advanced styles. Class Review.
15回目	Final Exam Final exam review, class wrap-up.
準備学習 時間外学習	
評価方法	課題/宿題 20% 中間テスト 30% 期末テスト 50%
受講生への メッセージ	Welcome to a fun learning experience. The goal of this course combine an instructional learning environment with in-class activities and games that are interesting and enjoyable. 楽しい学習体験へようこそ。このコースの目標は、指導的な学習環境と、興味深く楽しいクラス内アクティビティやゲームを組み合わせることです。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	英語 I / 英語 II English Language I・II	必修 選択	選択必修	年次	1.2	担当教員	TUNDE ODEGBARO先生/STEVEN MEYERS先生
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)						曜日・時限	月曜日3限目・火曜日3限目
【学習内容】 英語でのコミュニケーションやエアライン業界に必要な英語力を身につけます							
【実務経験】 英語講師歴10年							
【到達目標】 英語の四技能(読む・聞く、話す、書く)を学び、英語基礎コミュニケーション能力を身に付けグローバルに活躍できるようになる。 接客英語をロールプレイング形式で学び、自身で表現することができる。							

授業計画・内容	
1回目	人々の行動を説明できる
2回目	人々の計画や意図を説明できる
3回目	進行中の活動を説明できる
4回目	過去の活動について説明できる
5回目	レッスン1-4の復習
6回目	過去と未来の活動を表現できる
7回目	過去と未来の義務を表現できる
8回目	健康診断や医療アドバイスを理解できる
9回目	時間と期間を表現できる
10回目	レッスン6-9の復習
11回目	助けを提供することができる
12回目	家庭内の問題について話せる
13回目	テストのための復習
14回目	テスト
15回目	テスト解説
準備学習 時間外学習	各ミニテストの準備をしてください
評価方法	最終テスト75%、授業内での発表数25%
受講生への メッセージ	楽しくてわかりやすい方法で英語学習を楽しみましょう。この講義は、国際社会でのコミュニケーションに必要な英語を話すスキルを身につけるのに役立ちます。
【使用教科書・教材・参考書】 授業内筆記(この授業専用のノートを用意してください。)※注) 他の授業のノートと一緒にしないようにしてください。 必要に応じて「Hospitality English for Careers at Hotels.」教科書を使用します。	

科目名 (英)	英検対策(レベル別)/英語Ⅱ Eiken measures	必修 選択	必修	年次	1.2	担当教員	はなだ 東砂 / 坂田 未央
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期 月曜・火曜2限目
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 生徒の実用英語検定合格に向けて15レッスンにわたり講義を行う。リーディング・ライティング・面接試験対策を行い、生徒の実用英語検定試験の合格に向けて、総合的な英語力の向上に務める。実用的なビジネス英語の基本を学ぶ。</p> <p>※実務経験:英語講師歴20年以上。英語翻訳業実務経験5年以上。実用英語検定試験面接試験官歴23年。Professional Practices for English Language Teaching (英語教育のための専門的プラクティス)/British Council (ブリテッシュ・カウンシル)受講終了などの経歴及び資格を有する。</p>							
<p>【到達目標】 基礎英語を学ぶ。英検に合格できる。実用的なビジネス英語の基本を学ぶ。</p>							

授業計画・内容	
1回目	英検とは / 英文法基礎 / 単語・熟語 / 英作文 / リスニング練習問題
2回目	英検の問題形式 / 英文法基礎 / 単語・熟語 / 英作文 / リスニング練習問題
3回目	英検の問題形式 / 英文法基礎 / 単語・熟語 / 英作文 / リスニング練習問題
4回目	英検の過去問題練習
5回目	英検の過去問題練習
6回目	英検スピーキング練習 / 英文法基礎 / 単語・熟語
7回目	中間テスト: 英検スピーキング練習
8回目	英検スピーキング練習 / 英文法基礎 / 単語・熟語
9回目	英検スピーキング練習 / 英文法基礎 / 単語・熟語
10回目	英検スピーキング練習 / 英文法基礎 / 単語・熟語
11回目	英検の問題形式 / 英文法基礎 / 単語・熟語 / 英作文 / リスニング練習問題
12回目	英検の問題形式 / 英文法基礎 / 単語・熟語 / 英作文 / リスニング練習問題
13回目	期末テスト/ 英検過去問題 / スピーキング
14回目	期末テスト/ 英検過去問題 / スピーキング
15回目	企画レッスン
準備学習 時間外学習	休暇時に課題提出あり
評価方法	授業態度10%、出席率10%、単熟語テスト20%、中間テスト20%、期末テスト20%、課題提出20%を総して採点
受講生への メッセージ	基礎英語の総復習から英検合格を目指して、丁寧に学習しましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
単語・熟語プリント/ 英検過去問題/ 基礎英文法テキスト テキストブック各級3級 準2級、2級 / 英検過去3回問題集(最新のもの)3級 準2級、2級 / 英検過去6回問題集(最新のもの)準1級等	

科目名 (英)	英検対策(レベル別)/ 英語Ⅱ Eiken measures / English Language	必修 選択	必修	年次	1・2	担当教員	坂田 未央
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期
						曜日・時限	月曜日2時限 / 火曜日2時限
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 当校で2020年よりTOEIC、英検対策の授業を受け持ってきた講師が、目標にする英検の級に応じて、主に読解・語彙・リスニングを中心に指導する。リスニング力アップのためには特にフォニックスなどにもフォーカスを当ててピンポイントで指導する。</p> <p>※実務経験:2020年より当校ホテル・エアラインの学生対象にTOEIC、英検対策の授業を行う。2024年 福岡こども専門学校にて保育英会話講師。自宅にて行う英語の個人指導実績は過去に90名以上。(進学実績:九州大・早稲田大・上智大・東京理科大、法政大・明治大など)。東京外国語大学外国語学部英語科卒業。通訳経験、翻訳業務経験多数。英検1級 TOEIC975</p>							
<p>6 目指す英検レベルの文法、語彙を身に着けることができる。 リスニングスキルに必要な英語の音声の特質を学び、英語特有の音声に慣れ、リスニング力を上げることができる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	年頭のオリエンテーション。それぞれの目標とする級を自覚しモチベーションを上げる。語彙文法問題に取り組み試験内容に慣れることができる。
2回目	語彙・文法・読解問題を解き、学んだことを身に着けることができる。リスニング力を高めることができる。
3回目	語彙・文法・読解問題を解き、学んだことを身に着けることができる。リスニング力を高めることができる。
4回目	語彙・文法・読解問題を解き、学んだことを身に着けることができる。リスニング力を高めることができる。
5回目	語彙・文法・読解問題を解き、学んだことを身に着けることができる。リスニング力を高めることができる。
6回目	語彙・文法・読解問題を解き、学んだことを身に着けることができる。リスニング力を高めることができる。
7回目	語彙・文法・読解問題を解き、学んだことを身に着けることができる。リスニング力を高めることができる
8回目	これまでの振り返りテスト(中間テスト)により取りこぼした弱点を知ることができる
9回目	語彙・文法・読解問題を解き、学んだことを身に着けることができる。リスニング力を高めることができる
10回目	語彙・文法・読解問題を解き、学んだことを身に着けることができる。リスニング力を高めることができる
11回目	語彙・文法・読解問題を解き、学んだことを身に着けることができる。リスニング力を高めることができる
12回目	語彙・文法・読解問題を解き、学んだことを身に着けることができる。リスニング力を高めることができる
13回目	語彙・文法・読解問題を解き、学んだことを身に着けることができる。リスニング力を高めることができる
14回目	前期の振り返りテスト(期末テスト)により取りこぼした弱点を知ることができる
15回目	前期の講評と、学期末のレクリエーション活動(映画視聴など)
準備学習 時間外学習	毎回ではありませんが、作文の課題などを出して、提出してもらいます。それは評価に結び付きますので、きちんと期日までに提出していただきます。
評価方法	日頃の授業内のパフォーマンスと提出物 50% 定期テスト(2回) 50%
受講生への メッセージ	インバウンド観光客がますます増加する日本にあっては、英語でコミュニケーションできることが必須の時代になってきています。英検資格取得を目標に、ともにがんばって、みなさんが「英語を得意な自分」になれますようお手伝いします。一緒に英語の山を登ってまいりましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
「英検過去6回全問題集」「中学校3年間の英語が一冊でしっかりわかる問題集」ほか、必要に応じてプリント	

科目名 (英)	ビジネスマナー講座	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	木下 かな
	Business etiquette course	授業形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
学科・コース	エアライン本科コース	曜日・時限					

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

【学習内容】
 こころのケアをいろんな視点から学び、それに合わせたストレッチを行います、
 また、自分に合うものを体感して現在も社会に出てからも自律できるようにしていきます。

※実務経験：日本航空株式会社にて客室乗務員として1年2か月乗務。
 その他、株式会社Plan・Do・Seeにてウェディングプランナーとして3年4か月勤務勤務経験もあり、マナーやホスピタリティにも精通している。

【到達目標】
 気圧の変化がある職場なので、外的・内的なストレスがある中で、どう向き合い、また自身を見つめてどうケアしていくとよいか、予防することができるようになるか調節できるようになる。
 実務の動きも含め現場に出たときにも健康な心身をつくることができるようになる。

授業計画・内容	
1回目	呼吸を意識してみよう。マインドフルネスを体感し体と心を休める習慣をつくることができるようになる。
2回目	ストレスとはなにかを学び、避けるのではなくどう付き合うかを考えることができるようになる。
3回目	自律神経とはどういうものなのかを知り、コントロールできるものを知ることリズムを整えることができるようになる。
4回目	四季により体や心に変化することを知る。それを踏まえて今がどういう状態かを判断できるようになる。
5回目	ホルモンの関係を学び、体やメンタルへどう変化をもたらすのよう備えるかを実践できるようになる。
6回目	冬に向けてどう体やメンタルが変化するかを具体的に学び、冬の体づくりができるようになる。
7回目	自己分析をし、自分を見つめる時間を持つ。個性があることの大事さを知ることができる。
8回目	社会人に求められるもの、学生との違いが何かを知り、社会人としての考え方を身につけることができる。
9回目	立居振舞を学び、それぞれに合う良い姿勢を見出すことができる。
10回目	職場で必要な声掛けやクッション言葉を学び、心遣いを言葉でも表現できるようになる。
11回目	五臓六腑から体の流れを学び、疲れのサインを感じ取ることができるようになる。
12回目	アロマオイルの香りで現在落ち着くものを見つけ落ち着けるものを選択肢を増やすことができるようになる。
13回目	おなかの中から温まり冬休みで感じやすい体と心の疲れを防ぐことができる。
14回目	レポート試験
15回目	総復習とまとめ。
準備学習 時間外学習	※ストレッチがしやすいように、動きやすい服装で参加してください
評価方法	レポート50%、出席率50%
受講生への メッセージ	ストレス過多なこの時代、ストレスとどう向き合い、付き合っていけばよいのかをお話しながら、ストレッチをしていきます。体も心も十人十色。自分自身をみつめて、それぞれにあったストレスケアの時間を一緒に過ごしましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	英語Ⅱ English LanguageⅡ	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	ODEGBARO TUNDE
学科・コース	エアライン本科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
【学習内容】 英語でのコミュニケーション、業界に必要な英語力を身につけます							
【実務経験】 専門学校にて英語講師として10年勤務							
【到達目標】 基本的な英語コミュニケーションができる 業界に必要な英語の語彙力アップ							

授業計画・内容	
1回目	人々の行動を説明できる
2回目	人々の計画や意図を説明できる
3回目	進行中の活動を説明できる
4回目	過去の活動について説明できる
5回目	レッスン1-4の復習
6回目	過去と未来の活動を表現できる
7回目	過去と未来の義務を表現できる
8回目	健康診断や医療アドバイスを理解できる
9回目	時間と期間を表現できる
10回目	レッスン6-9の復習
11回目	助けを提供することができる
12回目	家庭内の問題について話せる
13回目	テストのための復習
14回目	テスト
15回目	テスト解説
準備学習 時間外学習	各ミニテストの準備をしてください
評価方法	最終テスト75%、授業内での発表数25%
受講生への メッセージ	楽しくてわかりやすい方法で英語学習を楽しみましょう。この講義は、国際社会でのコミュニケーションに必要な英語を話すスキルを身につけるのに役立ちます。
【使用教科書・教材・参考書】 授業内筆記(この授業専用のノートを用意してください。) ※注) 他の授業のノートと一緒にしないようにしてください。	

科目名 (英)	英語 I English Language I	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	ODEGBARO TUNDE / 常井 大輝
学科・コース	エアライン本科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
【学習内容】 英語でのコミュニケーション、業界に必要な英語力を身につけます							
【実務経験】 専門学校にて英語講師として10年勤務							
【到達目標】 基本的な英語コミュニケーションができる 業界に必要な英語の語彙力アップ							

授業計画・内容	
1回目	人の好き嫌いについて話せる
2回目	個人的な背景や興味について話すことができる
3回目	旅行や休暇について話すことができる
4回目	困難な経験について話すことができる
5回目	レッスン1-4の復習
6回目	時間と期間を表現できる
7回目	今後の計画について話し合うことができる
8回目	起こった出来事について話すことができる
9回目	まだ起こっていないことについて話せる
10回目	レッスン6-9の復習
11回目	提案できる
12回目	あなたが住んでいる場所でやるべきことについて話すことができる
13回目	テストのための復習
14回目	テスト
15回目	テスト解説
準備学習 時間外学習	各ミニテストの準備をしてください
評価方法	最終テスト75%、授業内での発表数25%
受講生への メッセージ	楽しくてわかりやすい方法で英語学習を楽しみましょう。この講義は、国際社会でのコミュニケーションに必要な英語を話すスキルを身につけるのに役立ちます。
【使用教科書・教材・参考書】 授業内筆記(この授業専用のノートを用意してください。) ※注) 他の授業のノートと一緒にしないようにしてください。	

科目名 (英)	フード&ビバレッジⅡ	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	永溝 光一郎
	Food&BeverageⅡ	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
学科・コース	エアライン本科						
<p>【授業の学習内容】</p> <p>様々な食材・素材に関する知識(栽培法・種類・特徴等)を学び、食材について研究する。実際に食材に触れて、試食し学ぶ。</p> <p>※実務経験:2014年～2022年まで現場でパティシエとして勤務、製造責任者、接客なども経験</p>							
<p>【到達目標】</p> <p><具体的な目標></p> <p>素材や食材について学び、次年度の実習授業に活かせるようになる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	ベリー (いちご、ラズベリー、ブルーベリー等) ※食材の食べ比べ ショートケーキ
2回目	チョコレート ※チョコレートの違い・作り方・色々なチョコレートの食べ比べ
3回目	洋栗・和栗について ※栗の甘露煮、洗皮煮、ペースト、食べ比べ (モンブラン)
4回目	卵について ※卵の違い プリンにして食べ比べ
5回目	砂糖について ※砂糖の種類違い作り方 砂糖の有なしで感じる味覚
6回目	リキュールについて ※リキュールの違い作り方 生クリームに混ぜての試食
7回目	ピューレについて ※ピューレとは、製造方法、同じものでも製造元で違う味
8回目	チーズについて ※チーズの歴史と違い 珍しいチーズの食べ比べ(ウォッシュチーズ・ブルーチーズ)
9回目	小麦粉(国産小麦・外麦の違い) ※小麦の違い色々な粉で作るスポンジ生地食べ比べ
10回目	バター・マーガリン・植物油脂について ※バターとマーガリンの違い、その種類作り方、食べ比べ
11回目	植物油脂・動物油脂(生クリーム)について ※生クリームの違い種類、各乳脂肪分の食べ比べ
12回目	ゲル化剤について ※ゼラチンなどの凝固剤で固まり方の違いをゼリーで食べ比べ
13回目	塩について テスト対策 ※塩の違い作り方 テスト対策
14回目	転化糖とB.Pについて テスト ※テスト 転化糖とB.Pについて、パウンドケーキで実験
15回目	ハーブ・スパイス・ミント・セルフィーユ・シナモン テスト振り返り ※テスト振り返り スパイス・ハーブを知る クラフトコーラ作り
準備学習 時間外学習	
評価方法	テスト:90% 授業内評価:10%
受講生への メッセージ	素材一つ一つに興味を持ち、素材を学ぶ事で、各業界で役立ててください。
<p>【使用教科書・教材・参考書】</p> <p>メモが出来るものを用意して下さい。</p>	

科目名 (英)	マナープロトコル(2級) Manner Protocol (2nd level)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	加藤 亜紀
学科・コース	エアライン本科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)</p> <p>【学習内容】2級の検定試験は出題形式が3級とは異なり、より深い学習が必要です。問題集、模擬問題を繰り返し解くことで試験問題に慣れ自信をもって2級の検定試験に臨むことができます。1年生で一通りの学習は終わっておりますので、グループで記述問題を作成し、皆で解き、自主的に学ぶ時間を取り、達成感を感じられる講義に致します。学習の成果として最終的に「文部科学省後援マナー・プロトコル検定2級」の合格を目指します。</p> <p>※実務経験：NPO法人日本マナー・プロトコル協会認定講師。ニテイ学館委託講師22年、接客マナー研修担当。平成21年に講師業Cherryを起業、大学、専門学校等で非常勤講師として「マナー・プロトコル」「ビジネス検定」「ケア・コミュニケーション」「秘書検定」「医療接客」「キャリア」「ホスピタリティ」の講義等を担当。また企業、医療機関、学校等でのマナー研修も行う。</p> <p>【到達目標】</p> <p>社会人を対象とされるワンランク上の「マナー・プロトコル検定2級」の資格取得に臨みます。ワンランク上の資格は就職活動においても自信をもってアピールできます。より深い学習により、マナーや美しい所作を身につけることができます。マナーを心得た社会人としても自信をもって社会生活をスタートできます。</p>							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション(学習の進め方等)。第1章マナーの歴史と意味:テキストで復習し、問題集等で該当問題を解く。該当部分の記述問題作成について(次回からは生徒達で記述問題を作成し参加する)問題を解くことで2級の問題に慣れることができる。
2回目	第2章国際人としてのプロトコル①(パーティのマナーまで):テキストで復習し、問題集等で該当問題を解く。生徒達で作成した該当部分の記述問題を解き、ポイント解説を行う。問題を解くことで2級の問題に慣れることができる。
3回目	第2章国際人としてのプロトコル②(挨拶と紹介～):テキストで復習し、問題集等で該当問題を解く。生徒達で作成した該当部分の記述問題を解き、ポイント解説を行う。問題を解くことで2級の問題に慣れることができる。
4回目	第3章社会人に必要なマナー①(礼装の基準まで):テキストで復習し、問題集等で該当問題を解く。生徒達で作成した該当部分の記述問題を解き、ポイント解説を行う。問題を解くことで2級の問題に慣れることができる。
5回目	第3章社会人に必要なマナー②(喜ばれる贈答品～):テキストで復習し、問題集等で該当問題を解く。生徒達で作成した該当部分の記述問題を解き、ポイント解説を行う。問題を解くことで2級の問題に慣れることができる。
6回目	前回の(贈答品のマナー～)の部分の記述問題を解く。ポイント解説。ここまでの内容の復習を行う。問題集を解き、理解を深める。自信を持って中間テストに臨むことができる。
7回目	中間テスト(ここまでの内容が理解出来ているか確認テストを行う)・振り返り
8回目	お酒のマナー:お酒の種類、ワインの基礎知識を学ぶことができる。6章の確認テスト、問題集の該当問題を解き、理解を深める。
9回目	第4章ビジネスシーンのマナー①(接待のマナーまで):テキストで復習し、問題集等で該当問題を解く。問題を解くことで2級の問題に慣れることができる。生徒達で作成したお酒のマナーの記述問題を解き、ポイント解説を行う。
10回目	第4章ビジネスシーンのマナー②(ビジネス文書～):テキストで復習し、問題集等で該当問題を解く。生徒達で作成した該当部分の記述問題を解き、ポイント解説を行う。問題を解くことで2級の問題に慣れることができる。インターンシップのお礼状作成、文書構成を理解することができる。
11回目	第5章食事のマナー①(和食のマナーまで):テキストで復習し、問題集等で該当問題を解く。生徒達で作成した該当部分の記述問題を解き、生徒ポイント解説を行う。問題を解くことで2級の問題に慣れることができる。
12回目	和食のマナーの生徒作成の記述問題を解き、ポイント解説。ここまで模擬問題を解いてみることで問題の形式に慣れることができる。
13回目	ここまでの内容の復習を行う。問題集を解き、理解を深める。自信を持って期末テストに臨むことができる。
14回目	期末試験
15回目	期末テストの振り返り
準備学習 時間外学習	前回学習した部分の記述問題をグループで作成する。問題集を解き直し復習する。
評価方法	①中間テスト、期末テストの点数 80% ②授業態度・提出物を期日までにきちんと提出する 20%
受講生への メッセージ	1年生で学んだことを更に学習を深めることで立ち振る舞いやマナーをより理解し、自分のものとする事が出来るでしょう。ワンランク上の資格を取得することは、皆さんが目指すホテルや観光、航空会社での就活において大きな自信となるでしょう。社会人として仕事を上でも大きな自信は皆さんを更に輝かせてくれます。文部科学省後援マナー・プロトコル2級の資格を取得出来るよう一緒に頑張りましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
「マナー&プロトコルの基礎知識」、「マナー・プロトコル検定2級・3級問題集」NPO法人日本マナー・プロトコル協会発行	

科目名 (英)	進級制作(コンシェルジュサービス)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	松本 真由美
	Presentation to mark the current year's study	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
学科・コース	エアライン本科					曜日・時限	
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) ホテル接客の基礎知識を学ぶ。気持ちを表す形や方法を認識し、ゲストの信頼を得る為にホテルマンとしてどのような備え・知識・技術が必要かを認識する。</p> <p>※実務経験: ホテル勤務年数: 28年、コンシェルジュ勤務年数: 21年 (ホテル日航福岡にてフロント係、フロントサービス係、を経てゲストリレーションズ /VIP等顧客接客係 兼 チーフコンシェルジュに配属) (現在、ホテルオークラ福岡 ゲストサービス課 課長 兼 コンシェルジュとして勤務)</p>							
<p>【到達目標】 ホテルマンとしてどのような備え・知識・技術が必要かを認識し、今後の接客の基盤となるよう習得する。</p>							

授業計画・内容	
1回目	10/8(火) ①コンシェルジュのホテルでの位置付け・コンシェルジュの職務内容 【他部署との連携】 【ゲストリレーションズ・バトラーとの違い】
2回目	10/8(火) ①コンシェルジュのホテルでの位置付け・コンシェルジュの職務内容 【他部署との連携】 【ゲストリレーションズ・バトラーとの違い】
3回目	10/22(火) ①気持ちを表す形 【① プロトコール (ホテルマニュアル)】 【② 立ち居振る舞い (EV、誘導、差し示し、立ち姿勢)】
4回目	10/22(火) ②気持ちを表す形 【① プロトコール (ホテルマニュアル)】 【② 立ち居振る舞い (EV、誘導、差し示し、立ち姿勢)】
5回目	11/5(火) ①傾向と対策 【国別・層別・年代別の事例】
6回目	11/5(火) ②傾向と対策 【国別・層別・年代別の事例】
7回目	11/19(火) ①コンシェルジュとしての備え・歴史的背景・コンシェルジュの資質【ビジネススキル・コミュニケーションスキル・オペレーションスキル】
8回目	11/19(火) ②コンシェルジュとしての備え・歴史的背景・コンシェルジュの資質【ビジネススキル・コミュニケーションスキル・オペレーションスキル】
9回目	12/3(火) ①気持ちを表す方法 【①選択肢 ②代替案 ③共有共感 ④プラスワード ⑤ソリューションカウンター】
10回目	12/3(火) ②気持ちを表す方法 【①選択肢 ②代替案 ③共有共感 ④プラスワード ⑤ソリューションカウンター】
11回目	12/17(火) ①コンシェルジュ信条について・コンシェルジュ協会、レクレドールについて・コンシェルジュネットワークと観光業界への貢献
12回目	12/17(火) ②コンシェルジュ信条について・コンシェルジュ協会、レクレドールについて・コンシェルジュネットワークと観光業界への貢献
13回目	1/21(火) ①演習【観光案内、交通機関チケット手配の事例・実践】 【レストラン手配の事例・実践】
14回目	1/21(火) ②演習【観光案内、交通機関チケット手配の事例・実践】 【レストラン手配の事例・実践】
15回目	総まとめ、振り返り
準備学習 時間外学習	授業は制服着用で出席すること。(身だしなみも整えて清潔感を与えられるように準備をする)
評価方法	平常点(課題)40点 + 試験 50点 + 出席点 10点 = 計100点
受講生への メッセージ	①「基本を知る」 (基本を知って応用が出来る。) ②「共感力」 (相手の温度に合わせる ⇒ 程度・スピード・距離感を合わせる。) ③「先読みする」 (下準備を行う。裏取りをする。) ④「引き出しを増やす」 (様々な引き出し。深い引き出し。)
【使用教科書・教材・参考書】	
『わたしはコンシェルジュ』阿部 佳 氏 著	

科目名 (英)	フロントオペレーション Operation of Airline	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	川崎 侑季
学科・コース	エアライン本科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 実践を通して、インターンシップ、就職活動を身近に考えていけるように学んでいきます。</p> <p>※実務経験: グランドスタッフとして福岡空港国際線で勤務ののち、エアライン専門学校で3年間勤務。約1,000人の授業、就職支援、教務責任者を担当。</p> <p>【到達目標】 選考を通過できる下地をつくる。 いつでもどこでも好感を持てる振舞ができる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	身だしなみ・立居振舞 ～復習～
2回目	志望動機①
3回目	自己PR①
4回目	写真について
5回目	動画選考①
6回目	動画選考② ～①の内容を踏まえて、学校内で1分自己PR撮影～ ※私服着用
7回目	写真について② ～①の内容を踏まえて、テーマに沿って撮影～ ※私服着用
8回目	自己PR動画、写真鑑賞会(写真についてはプレゼンしてもらいます) ※スマートフォンを使用
9回目	志望動機②
10回目	自己PR②
11回目	企業研究 ～第3、4希望企業の「刺さったフレーズ」についてプレゼン～ ※PC使用
12回目	企業のSNSについて ～戦略を感じ取ろう～
13回目	ES作成(過去のES内容を利用し作成)
14回目	期末試験(面接形式で志望動機、自己PRチェック)
15回目	ES作成、試験の様子鑑賞会
準備学習 時間外学習	プレゼンの機会を多く設けています。 準備をしっかり行って臨んでください。
評価方法	授業態度 70% 身だしなみ・立居振舞 30%
受講生への メッセージ	就職活動は遠い未来ではなく、すぐ近くに迫っているものです。 気を引き締めて受講しましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	就職講座Ⅱ / エアライン就職講座 Work Seminar Ⅱ / Work Seminar	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	川崎 侑季
学科・コース	エアライン本科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 1・2年生合同でエアラインの仕事、求められていることについて学習します。</p> <p>※実務経験: グランドスタッフとして福岡空港国際線で勤務ののち、エアライン専門学校で3年間勤務。約1,000人の授業、就職支援、教務責任者を担当。</p> <p>【到達目標】 楽しみながらAL業界について理解する。 人前でためらいなく話せるようになる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	自己紹介、他己紹介、第一印象、テーマトーク
2回目	立居振舞(立ち方、座り方、歩き方、お出迎え) ※ヒール7センチ以上の靴を持参してください。
3回目	話し方、聞き方、伝え方(正しい日本語を使おう)
4回目	職業理解(GS)
5回目	職業理解(CA)→GSとの違いを中心にお知らせします。
6回目	自己分析(自分年表の作成)→自己PRポイントを見つけよう
7回目	企業研究 ※PC利用
8回目	企業研究プレゼン大会 ～先生方にもプレゼンを聴講してもらおう～ ※PC利用
9回目	アナウンス(空港内アナウンスをやってみよう)
10回目	ハンディキャップがあるお客様に対する対応体験 ※マスク持参
11回目	緊急事態に自分とお客様の命を守るには
12回目	モックアップ(機内サービスをやってみよう! FSC、LCCの違いは?)
13回目	私服についてのプレゼン(戦略的に見られる意識をもつ) ～面接に慣れる～ ※私服
14回目	期末試験(面接形式で行います)
15回目	試験振り返り、半年間の総括
準備学習 時間外学習	「話してみる」「やってみる」ことを念頭に授業を設定しています。 テーマに沿った準備を行いましょ。
評価方法	授業態度 70% 身だしなみ・立居振舞 30%
受講生への メッセージ	CA、GSってどんな仕事なのか?何を求められているのか?ということイメージではなく体験を通して知っていきましょう。 楽しく受講してください。
【使用教科書・教材・参考書】	
なし	

科目名 (英)	航空知識Ⅱ Study of Airlines IndustryⅡ	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	平島 可奈子
学科・コース	エアライン本科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 地上勤務含むサービス業に必要な知識を、実践を交えながら実施します。業界の基礎知識を理解できるようにします</p> <p>※実務経験:日本航空のグランドスタッフとして国内線・国際線業務を担当した後、アマデウス認定インストラクターの資格取得。</p>							
<p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会に出る(社会人になる)というイメージができる ・自分を深く知ることができる ・視野や考え方を更に広げられるようになる 							

授業計画・内容	
1回目	1年次の復習
2回目	3レターについて知り、定着できるようにする
3回目	2024年空港ランキングを通して、世界の空港の特徴を知ることができる
4回目	航空業界で使用する専門用語・略語を理解し活用できるようになる①(復習)
5回目	航空業界で使用する専門用語・略語を理解し活用できるようになる②(動画視聴含む)
6回目	航空業界で使用する専門用語・略語を理解し活用できるようになる③(他者に伝える)
7回目	中間テスト
8回目	コミュニケーションの大切さを理解し、意識できるようになる
9回目	自己分析①:自分の長所・短所を挙げることができるようになる
10回目	自己分析②:他者の長所を挙げることができる
11回目	自己分析③:①②を踏まえて、自己PRを文章に起こすことができる
12回目	プレゼン①各社のSDGs取り組みについて
13回目	プレゼン②各社のSDGs取り組みについて
14回目	IRRGについて実際の事例を通して、どのような行動をとるか考えることができるようになる
15回目	期末テスト
準備学習 時間外学習	
評価方法	中間テスト50%(筆記試験)、期末テスト50%(筆記試験orプレゼン)
受講生への メッセージ	自分のことを理解しようと意識して日々を送り、自己PRを少しずつ完成させましょう。文章化することに慣れましょう!
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	中国語 Chinese Language	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	李 霜華
学科・コース	エアライン本科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	後期
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)</p> <p>長年に亘り、言語学と教育方法学の理論に基づいて、エキスパートとしての中国語教育を行ってきました。エアライン・ホテル業務に使えるオリジナル教材を作って、前期の勉強を踏まえ、中国語の基礎を更に固め、発音・文法・会話を中心に深く指導していきます。</p> <p>授業の内容を身につけるだけでなく、自らの勉強を通じて問題解決の能力を高めるように期待しています。プリントを配り、日常会話・ビジネス会話を繰り返し読みだり暗記したりさせ、流暢に話せるまで練習してもらいます。また、数十年の教育経験を活かして、受講生が中国語検定試験HSK2級、3級に合格できるように、試験問題を解くノウハウを丁寧に説明し、クラス全員で力を合わせて、目標を目指して頑張ってもらいます。□</p>							
<p>【到達目標】</p> <p>グローバル化社会に於いて適応力が高い人間になるため、コミュニケーション能力、特に外国語のレベルが問われるという意識を持って、中国語を身につける重要性が深く認識できます。また、中国語の自己紹介をはじめ、日常会話、ビジネス会話、将来の仕事現場で中国人観光客に対するサービス提供ができるように、今から少しずつ進んでいき、卒業するまで中国語が話せるように皆で頑張ります。前期の続きとして、中国語検定試験HSK2級、3級に合格できるように奮闘してもらいます。</p>							

授業計画・内容	
1回目	前期に習った内容を全面的に復習し、発音・四声・イントネーションについて徹底的に練習することができる。
2回目	前期に続き、中国語検定試験HSK2級問題を取り上げて、各部分に分けて、詳しい説明を聞いて、そのノウハウを理解することができる。
3回目	過去問の練習について一回ずつ自分の目標を立てて、その達成感を味わいながら、更に高い目標へ進むことができる。
4回目	検定試験の問題について、各部分を徹底的に練習しながら、日常会話・業務用語も学ぶことができる。
5回目	検定試験の過去問を練習すると同時に、言葉の量を増やし、基礎文法を重点的に学ぶことができる
6回目	リスニング問題を重点的に練習し、自分の弱点を見つけて、克服することができる。
7回目	検定試験の過去問についての共通性を見つけ、その対策を身につけることができる。。
8回目	検定試験の最終的な復習と合格できるノウハウを徹底的に身に着けることができる。
9回目	仕事用のビジネス会話を中心に練習し、臨機応変に対応する能力を高めることができる。
10回目	空港・ホテルの様々な場面を作って、習った言葉、フレーズを活用することができる。
11回目	教室でグループを分けて、卒業後の仕事現場を作って、中国語で案内することができる。
12回目	後期の学習内容を全面的に復習し、授業効果を一層高めることができる。
13回目	期末試験前の総合的な復習、口頭試問の答えも十分に練習することができる。
14回目	評価週、期末試験(リスニング・会話・レポートを含む)
15回目	まとめ、反省会、これからの仕事に向かって、更に人生の高い目標を目指して頑張っていくことができる。
準備学習 時間外学習	授業の前に、復習・予習が必要で、単語、フレーズを随時に暗記する。インターネット上の中国語を聞いたり、練習したりして、できるだけたくさん言葉を覚えるように努力してもらおう。
評価方法	●授業態度(30%) ●小テスト(20%) ●定期テスト(50%) 割合で成績評価を行う。
受講生への メッセージ	皆さん、前期の授業でよく頑張ってくれて、ありがとう！中国語を更に上手に身につけられるように、後期も工夫しながら一緒に前へ進んでいきましょう。将来仕事に使えるビジネス中国語を中心に、単語の量を増やし、決まったフレーズをしっかりと覚え、就職してからすぐに中国語でお客様に対応できるように、日々コツコツと努力することが大事です。どうか皆で力を合わせ、これからの楽しい学校生活を過ごしましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
日常会話、ビジネス会話のプリント・中国語検定試験過去問プリント、単語集	

科目名 (英)	宿泊業務演習Ⅱ 他 Accommodation business training Ⅱ	必修 選択	選択必修	年次	2・3	担当教員	林田 裕也
学科・コース	エアライン本科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) サービスについての基本的なマインドや対応について学びます。また実技を通して実践力を身に着けます。</p> <p>※実務経験：パークハイアット東京7年間勤務、リゾートトラスト社東京ベイコート倶楽部東京後、株式会社プライムコンセプト13年専務取締役、株式会社プライムプランディングデザイン取締役副社長、ホテル旅館運営会社 株式会社Planact取締役副社長。</p> <p>【到達目標】 サービススタッフとしての基本的なマインドの基本と対応姿勢を学ぶ。 基本的なサービスアテンドの流れを実技形式で習得を目指す。</p>							

授業計画・内容	
1回目	ホテリエとしてのサービスマインドを理解できる
2回目	お客様の目的を理解する
3回目	お客様をエスコートする時の基本マインドと立ち居振る舞いの習得
4回目	エントランスからエレベーターへのエスコートを実践形式で習得する
5回目	エレベーターからロビーへのアテンドをする際の基本とエスコート姿勢を習得する
6回目	ロビーでのチェックイン、ウェイティング、ロビー対応を習得する①
7回目	ロビーでのチェックイン、ウェイティング、ロビー対応を習得する②
8回目	フロントから部屋までのエスコートを実践的に習得する
9回目	客室案内のエスコートを習得する
10回目	ロビーでのお客様からの様々なリクエストへの対応力を付ける①
11回目	ロビーでのお客様からの様々なリクエストへの対応力を付ける②
12回目	サービススタッフとして、お客様からのリクエストへの対応力を磨く①
13回目	サービススタッフとして、お客様からのリクエストへの対応力を磨く②
14回目	実技試験①
15回目	実技試験②
準備学習 時間外学習	無し
評価方法	授業参加率と参加姿勢(60点)＋実技発表(40点)＝合計100点
受講生への メッセージ	ホテルの基本的なマインドをお客様対応の目線で身に着ける事で、今後のサービス力が変わります！しっかり学んで行きましょう！
【使用教科書・教材・参考書】	
無し	

科目名 (英)	宿泊業務演習 I Accommodation business training I	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	林田 裕也
学科・コース	エアライン本科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) サービスについての基本的なマインドや対応について学びます。また実技を通して実践力を身に着けます。</p> <p>※実務経験：パークハイアット東京7年間勤務、リゾートトラスト社東京ベイコート倶楽部東京後、株式会社プライムコンセプト13年専務取締役、株式会社プライムプランディングデザイン取締役副社長、ホテル旅館運営会社 株式会社Planact取締役副社長。</p>							
<p>【到達目標】</p> <p>基本的なホテリエとしてのマインドの基礎と役割を理解できる。 基本的なホテリエとしての立ち居振る舞いを実際のシチュエーションを交えて身に着ける事ができる。 今後の接客サービスの基礎となる振る舞いを身に着ける事を目指す。</p>							

授業計画・内容	
1回目	ホテリエとしてのサービスマインドを理解できる
2回目	お客様との距離感と間合いの重要性を理解できる
3回目	ホテルのサービススタッフとしての基本的なアテンド方法
4回目	ホテルとしてエントランスからエレベーターアテンドの基本を理解できる
5回目	ホテルとしてのエレベーター内のトークスキルを数特する
6回目	ホテルとしてのチェックインの基本的な流れを理解できる①
7回目	ホテルとしてのチェックインの基本的な流れを理解できる②
8回目	ホテルの客室案内の基本と学ぶ事ができる
9回目	ホテルサービスにおけるイレギュラーリクエストへの対応力を習得する
10回目	ホテルサービスにおけるイレギュラーリクエストへの対応力を習得する②
11回目	エントランスからロビーアテンド、チェックインの流れを実技を通して習得する①
12回目	エントランスからロビーアテンド、チェックインの流れを実技を通して習得する②
13回目	エントランスからロビーアテンド、チェックインの流れを実技を通して習得する③
14回目	実技試験①
15回目	実技試験②
準備学習 時間外学習	無し
評価方法	授業参加率と参加姿勢(60点) + 実技発表(40点) = 合計100点
受講生への メッセージ	ホテルの基本的なマインドをお客様対応の目線で身に着ける事で、今後のサービス力が変わります！しっかり学んで行きましょう！
【使用教科書・教材・参考書】	
無し	

科目名 (英)	ホテルマネジメント技能検定 Hotel management exam	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	高橋 良一
学科・コース	エアライン本科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)</p> <p>本校において、コロナ禍で激変する世界市場の中でホテルマーケットがどの様に変化変貌するのか、未を予測をしながら、収益を上げる為のマネジメント手法の基礎からコストコントロールの重要性を学び、未来に通じる経営数値管理知識や分析能力を持てる指導の為、数値分析問題などを中心に指導実施する。</p> <p>※実務経験:ホテル業界に40年以上在籍し、関東私鉄系、航空系、外資系、地方独立系等の5件の開業プロジェクトを経験し、2014年にホテル旅館運営支援事業の㈱HAMAソリューションズ設立し、ホテル旅館の運営コンサル実施し、現在7期目に至る。</p>							
<p>【到達目標】</p> <p>ホテル業界を目指す学生の多くは接客が好きだとか、ホテルオペレーションに関心の高い人が多いです。勿論、ホテル業の最前線は接客サービスで始まりますが、ご存じの通り、今ホテル開発は商業施設、オフィス施設、ホテル宿泊施設として不動産デベロッパーにより複合施設として世界中で開発されています。その中で不動産開発する側とホテル運営現場で働く人とのビジネス経営の知識格差が散見されます。もはやホテル業界では「おもてなし」だけでは食えない時代になりました。現場は現場教育で時間をおけば習得できますが、ホテル業をビジネスとしてホテル経営学の本質と実践を学び、習得する事で上位職への門が開かれます。当面の目標として在学中にホテルマネジメント検定試験3級合格を目指す。</p>							

授業計画・内容	
第1回	ホテル・マネジメント概論 授業の進め方につき、レクチャー 半期の授業の流れを理解することができる
第2回	ホテルマネジメントとホテルマーケティングとホテル財務会計とレベニューマネジメント教科の関係性を理解することができる
第3回	宿泊業務に必要な知識と技能が理解出来る 過去問題
第4回	料飲業務に必要な知識と技能が理解出来る 過去問題
第5回	宴会部門に必要な知識と技能が理解出来る 過去問題
第6回	営業部門に必要な知識と技能が理解出来る 過去問題
第7回	ホテルマーケティングの知識と技能が理解出来る 過去問題
第8回	施設管理業務の知識と技能が理解出来る 過去問題
第9回	危機管理職種 コンプライアンスの知識と技能が理解出来る 過去問題
第10回	ホテル事業計画につき、必要な知識が理解出来る 過去問題
第11回	ホテル会計の概要が理解出来る 過去問題
第12回	損益計算書や損益分岐点売上や主要分析指標の内容が理解出来る 過去問題
第13回	ホテルマーケティングとホテル購買管理の仕組み、人材育成の重要性が理解出来る 過去問題
第14回	評価日
第15回	基本同じ問題はしない。 課題レポートにて実施
準備学習 時間外学習	ホテル宿泊業の事業特性を深く認識し、売上は減っても利益を出す仕組みがないか?のテーマに挑む。ホテルレストラン業界をオペレーターとして志望する学生が多い中で、この業界を企業ビジネスとして他業界と比較する目線を持つことが重要と考える。学生には新聞等のメディアで色んな産業経済に目線を向ける習慣付けを指導したい。 ※2025年秋に検定受験予定
評価方法	筆記試験 100% 参考に提出レポート等 評価
受講生への メッセージ	ホテルマネジメント検定3級の受験合格を目指します。最近の問題の傾向に、日頃の世界や日本の観光業、ホテル、旅館、航空業界などの話題に関する出題が散見されます。業界に関するメディア情報に敏感に反応しましょう。又分析数値問題にも慣れる事が大切です。数値判断は社会に出てからも必要なスキルになり、学生時代に慣れる事が一番です。合格目指し、頑張ろう。
【使用教科書・教材・参考書】	
<ul style="list-style-type: none"> ・学生使用テキスト ホテル・マネジメント概論 ・他プリント配布 あるいはPPTやPDF表示による課題 ※基本的に過去問題中心に学習します。 	

科目名 (英)	英語 I English Language I	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	ODEGBARO TUNDE / 常井 大輝
学科・コース	エアライン本科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) リーディング、リスニング、ライティング、スピーキングをすることを日常化し英語に触れる時間を増やす。</p> <p>※:実務経験: 米国セントラルフロリダ大学ホスピタリティマネジメント学部を卒業し、日本へ帰国後東京の不動産・ホテル運営会社へ入社。外資系シティホテルへ出向し約2年半勤務。OTAのセールス、マーケティングを担当。同時に兼務として新規大型ラグジュアリーホテルのレベニューマネージャーを担当し、開業準備に携わる。2023年に独立し、株式会社Hospitality Bridgeを創業。観光業をメインとしたコンサルティング会社として、集客向上、経営コンサルティング、オペレーションコンサルティング、DMOなどの自治体むけセミナーなどを行う。</p> <p>【到達目標】 学期を通して英語の本を一冊読み、それに関するレポートを英語で書く。TED Talkを聞いて、次の授業で何を聞いて学んだかを英語で短いスピーチを毎回行う。</p>							

授業計画・内容	
1回目	自己紹介。クラスの流れを説明。学期を通して読む本を決める。次回までに自己紹介を英語で書いて提出する？
2回目	クラス内で英語で話をする。クラス分け。自己紹介(名前、出身、将来の夢、今夢中になっていること)？
3回目	クラス分け最初の授業。自己紹介part2。(名前、行ってみたい国、行ったことのある国、好きな地域とその国に関して)
4回目	映画を見て、要約文を書いてみる。(マイインターン、フォレストガンプ、ブラダを着た悪魔、グレイテストショーマン、天使にラブソングを1 or 2、グリーンブック)
5回目	文法講座(自己紹介文と要約文をから不自然な点、良い表現、アドバイスをピックアップして共有)
6回目	ロールプレイ(ホテルの接客をやってみよう)2人一組、レセプション、コンシェルジュ、ブッフェレストランの対応)スクリプトの作成、修正を繰り返す。
7回目	ロールプレイ(ホテルの接客をやってみよう)2人一組、レセプション、コンシェルジュ、ブッフェレストランの対応)初稿提出、スクリプトの読み合わせ、練習
8回目	ロールプレイ(ホテルの接客をやってみよう)2人一組、レセプション、コンシェルジュ、ブッフェレストランの対応)ロールプレイ本番
9回目	TED Talk の宿題を共有してみよう。
10回目	最終レポートに向けた読書の進捗を共有して、どんな本が友達に伝えよう
11回目	文法講座(ロールプレイのスクリプトやTed Talk レポートからピックアップ)
12回目	エッセイを書いてみよう。エッセイの説明。
13回目	エッセイを書いてみよう。エッセイの説明。
14回目	エッセイ提出
15回目	エッセイ評価、読書の要約を提出、授業に出た文法をテスト
準備学習 時間外学習	読書、TED Talk のリスニングとレポート
評価方法	読書要約レポート(30%)、TED Talk リスニング&レポート(30% 2%×15回) エッセイ(10%)、映画要約(10%)、ロールプレイ (10%)、文法テスト(10%)
受講生への メッセージ	英語に触れて慣れてもらうことが一番学びになります。机で黙って話を聞く授業ではないので、積極的に参加し、聞いたり、話したり、書いたりしながら楽しい授業にしましょう！
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	TOEIC対策 ToEIC measures	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	常井 大輝
学科・コース	エアライン本科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	後期
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)</p> <p>TOEIC 対策として、リーディングと文法を徹底的に履修します。過去問を活用し、時間を計測して試験の方式に慣れてもらいます。それを計7回の半分は試験に利用し、他の回は、英語に慣れてもらうため、英語で話したり、聞いたりする機会とします。TED Talk を活用し、英語で要約レポートを書いてもらうことで、英語の基礎力を高めます。ネイティブの英語を聞き取れるようになることで、リーディングの速読や、文法が理論ではなく自然と出てくるようになります。ただしリスニングだけでは正しい英語(ビジネスレベル)を身につけることが難しいため、リーディングとライティングで補正していきます。</p> <p>※実務経験:米国セントラルフロリダ大学ホスピタリティマネジメント学部を卒業し、日本へ帰国後東京の不動産・ホテル運営会社へ入社。外資系シティホテルへ出向し約2年半勤務。OTAのセールス、マーケティングを担当。同時に兼務として新規大型ラグジュアリーホテルのレベニューマネージャーを担当し、開業準備に携わる。2023年に独立し、株式会社Hospitality Bridgeを創業。観光業をメインとしたコンサルティング会社として、集客向上、経営コンサルティング、オペレーションコンサルティング、DMOなどの自治体向けセミナーなどを行う。</p>							
<p>【到達目標】</p> <p>1回目の模擬試験の結果から自ら目標得点を設定してもらいます。</p>							

授業計画・内容	
1回目	自己紹介 TOEIC対策に向けて TED Talk の活用について
2回目	模擬テスト 自分のレベルを把握する。TED Talk 宿題
3回目	自己分析と目標設定を行う。わからないところ、苦手を把握し、他人に共有する。学び合う。TED Talk 宿題
4回目	模擬テスト TED Talk 宿題
5回目	自己分析 変化はあったか把握する。前回わからなかったが、今回は分かったことをアハ体験を通じて脳に焼き付ける。TED Talk 宿題
6回目	模擬テスト TED Talk 宿題
7回目	自己分析 変化はあったか把握する。前回わからなかったが、今回は分かったことをアハ体験を通じて脳に焼き付ける。TED Talk 宿題
8回目	模擬テスト TED Talk 宿題
9回目	自己分析 変化はあったか把握する。前回わからなかったが、今回は分かったことをアハ体験を通じて脳に焼き付ける。TED Talk 宿題
10回目	模擬テスト TED Talk 宿題
11回目	自己分析 変化はあったか把握する。前回わからなかったが、今回は分かったことをアハ体験を通じて脳に焼き付ける。TED Talk 宿題
12回目	模擬テスト TED Talk 宿題
13回目	自己分析 変化はあったか把握する。前回わからなかったが、今回は分かったことをアハ体験を通じて脳に焼き付ける。TED Talk 宿題
14回目	模擬テスト TED Talk 宿題
15回目	TOEIC 本番?
準備学習 時間外学習	TED Talk(もしくは映画)の番組の中から自分が興味があるものを視聴し(15分以上のもの)要約レポートを英語で作成してくる。模擬テストで間違えたところを把握し、次回のクラスで共有、どういう問題であったか説明を自ら行う。
評価方法	模擬テスト、本番におけるリスニング、リーディングそれぞれの目標値達成率(最後の点数/目標値%)。
受講生への メッセージ	TOEIC対策だけの座学授業ではありません。英語に触れる機会を増やせば自然と問題が解けるようになります。単語を覚える、文法を覚えるのは単語帳を読んだり参考書を読んだりするのではなく、レポートを書いたり、映画をみたり自然の生活をしながら少し習慣を変えてみることで楽しんで覚えていきましょう。

科目名 (英)	キャリアプログラム Career program	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	常井 大輝
学科・コース	エアライン本科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 自分のキャリアビジョンを探してみる。やりたいこと、興味のあることを自己分析し、業界内での仕事を幅広く知ることによって自分がやりたい選択肢の幅を広げる。</p> <p>※実務経験: 米国セントラルフロリダ大学ホスピタリティマネジメント学部を卒業し、日本へ帰国後東京の不動産・ホテル運営会社へ入社。外資系シティホテルへ出向し約2年半勤務。OTAのセールス、マーケティングを担当。同時に兼務として新規大型ラグジュアリーホテルのレベニューマネージャーを担当し、開業準備に携わる。2023年に独立し、株式会社Hospitality Bridgeを創業。観光業をメインとしたコンサルティング会社として、集客向上、経営コンサルティング、オペレーションコンサルティング、DMOなどの自治体むけセミナーなどを行う。</p> <p>【到達目標】 やりたいこと、興味があることを見つける。</p>							

授業計画・内容	
1回目	自己紹介、クラスに関して、経歴と起業の経緯説明。やりたいこと、興味があること、夢などを共有する(学生からも)
2回目	自己分析: 性格判断16personalities とクリフトンストレンクスファインダー(有料)
3回目	人生設計をしてみる。何歳までにどんなことしてる? どんな家に住んでいる? 資産はいくら? 家族構成は?
4回目	自分はどんな仕事に向いているのか、それはやりたいことなのか、モチベーションは何か、レポートする。
5回目	仕事の選択肢の幅を広げる。就職活動に向けて(ジョブフェアの紹介)。
6回目	自己経歴の更新。Linked In、マイナビなどの活用。
7回目	バイトを探してみる。キャリアプランの第一歩。応募し働くかはあなた次第。
8回目	海外での生活についての話
9回目	海外ホテルでのインターンシップ経験の話
10回目	アメリカのホスピタリティ: ビジネス視点とおもてなし視点
11回目	海外カフェ接客術。米国接客英語のロールプレイ(演劇)を映画のワンシーンのようにやってみた
12回目	アメリカ入国審査ロールプレイ。緊張しないでやってみよう? 海外渡航後の場合変更
13回目	聞きたいこと、自習タイム
14回目	オンラインMTGをやってみる?
15回目	レポート: やりたいことは見つかったか。興味のある分野は見つかったか。
準備学習 時間外学習	
評価方法	期末テスト(100%)
受講生への メッセージ	自分を知り、将来について考える時間を少し作っていきましょう。流れに乗る人生、流れに乗らずに自ら切り開く人生など色々ありますが、自分が望む生き方を考えると学ぶ意味もなんとなくわかるかもしれません。私はそれをアメリカ大学生生活4年目で考え始めました。
【使用教科書・教材・参考書】	
クリフトンストレンクスファインダー- https://store.gallup.com/p/ja-jp/10003/%E3%82%AF%E3%83%AA%E3%83%95%E3%83%88%E3%83%B3%E3%82%B9%E3%83%88%E3%83%AC%E3%83%B3%E3%82%B0%E3%82%B934?c=1	

科目名 (英)	レストランサービス演習 Restaurant service training	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	麻生 亮
学科・コース	エアライン本科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 授業を通じて実社会で通用するスキルを身につけていきます。</p> <p>※:実務経験 レストランひらまつ:レストランサービス2年・ホテルオークラ福岡:レストランサービス20年勤務</p>							
<p>【到達目標】 実務で活かせる考え方と実践で活かせる行動力を身につけます。</p>							

授業計画・内容	
1回目	学習の目的をを概要を知る事でレストランサービスの一連の流れを学ぶ事が出来る
2回目	サービスツールの使用方法と取り扱いを学び実践できるようになる(皿・シルバー・トレイ)
3回目	サービスツールの使用方法と取り扱いを学び実践できるようになる(グラス)
4回目	電話予約とテーブルレイアウトの関係を学ぶ事が出来る
5回目	事前予約者とウォークインゲストの違いを学ぶ事が出来る(第一印象)
6回目	コース料理と単品料理の注文と料理提供順の考え方をマ暗部事が出来る
7回目	料理と飲み物の関係を学ぶ事が出来る
8回目	料理コントロールと各備品の確保と洗浄
9回目	注文品の相違と残った料理の考え方と報告
10回目	追加注文(料理・飲物)と売上と時間の関係
11回目	下げ物と片付けと労働時間の関係を学ぶ事が出来る
12回目	ランチ前ミーティング、ディナー前ミーティング、営業終業後と次回出勤の考え方を学ぶ
13回目	試験対策の対策
14回目	試験対策
15回目	まとめ
準備学習 時間外学習	他科目とのリンク
評価方法	筆記試験 100%
受講生への メッセージ	まだ見ぬ世界へ
<p>【使用教科書・教材・参考書】</p> <p>西洋料理 料飲接客サービス技法</p>	

科目名 (英)	レストランサービス技能検定 Restaurant service skill test	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	麻生 亮
学科・コース	エアライン本科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 授業を通じて実社会で通用するスキルを身につけていきます。							
※:実務経験 レストランひらまつ:レストランサービス2年・ホテルオークラ福岡:レストランサービス20年勤務							
【到達目標】 2025年8月学科試験全員合格							

授業計画・内容	
1回目	レストランにおけるサービス方法・任務・開店準備・案内・注文・会計・販売促進・テーブルサービスを学び観点を把握する事が出来る
2回目	食文化の歴史・作法・変遷を学び基礎知識を理解する事が出来る。
3回目	レストランサービスの内容(テーブルサービス・持ち方・運び方・歩行動作・方法・片づけ・事故対処・調理の仕上げ)を学び理解する事ができる
4回目	レストランサービスの内容(予約・解約・メニュー管理)を学び理解する事ができる
5回目	レストランサービスの内容(料理、食器等の異常・一般的な救護方法・食事のサービスマナー)を学び理解する事ができる
6回目	レストランサービスの内容(食事の国際習慣・プロトコルの歴史、5原則・席次、序列・名称・配席・国旗・服装)を学び理解する事ができる
7回目	食文化の歴史・作法・変遷を学び基礎知識を理解する事が出来る。
8回目	施設管理(防火管理・消火装置・警報装置・維持)を学び重要性を学ぶ事が出来る
9回目	食文化の歴史・作法・変遷を学び基礎知識を理解する事が出来る。
10回目	施設管理(防火管理・消火装置・警報装置・維持)を学び重要性を学ぶ事が出来る
11回目	苦情対応と遺失物の取り扱いを学び説明出来る様になる
12回目	食品衛生・公衆衛生及び安全衛生を学び理解できるようになる
13回目	試験対策
14回目	期末試験
15回目	まとめ
準備学習 時間外学習	他科目とのリンク
評価方法	筆記試験 100%
受講生への メッセージ	まだ見ぬ世界へ
【使用教科書・教材・参考書】 西洋料理 料飲接客サービス技法	